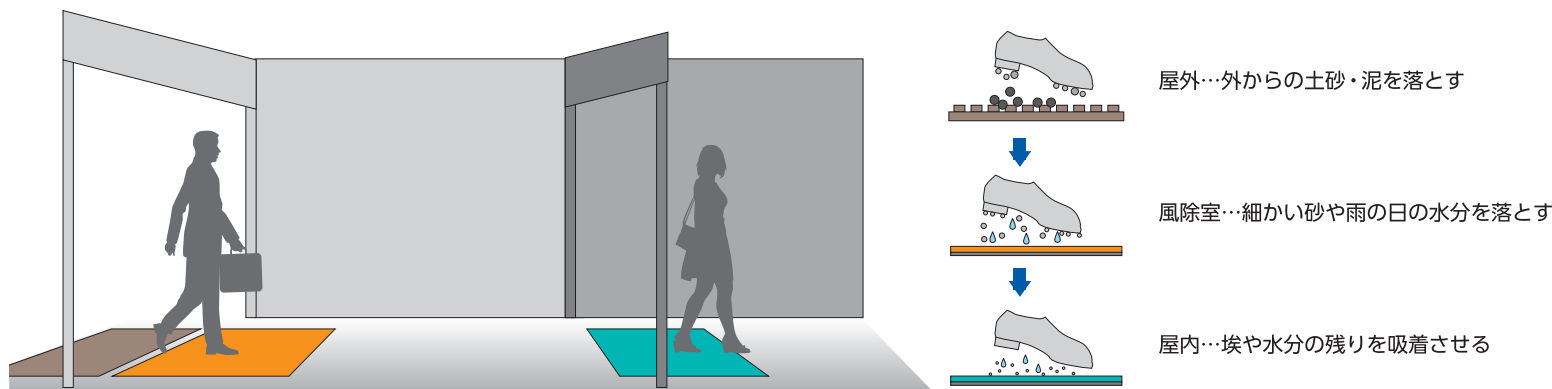


シートのメンテナンス実施の前に

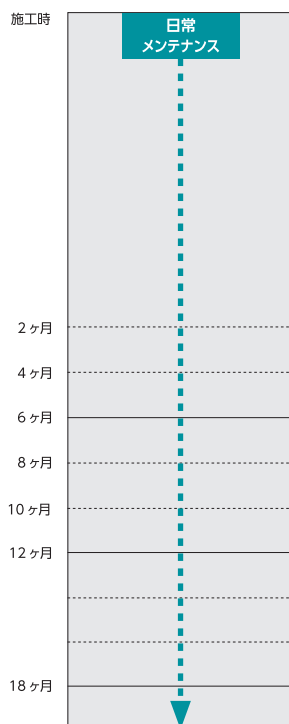
室内の汚れ原因の85%は外から運びこまれる砂や石などによるものと言われています。ビニルシートをきれいに長くご使用いただくには、なるべく広範囲にわたってマットを設置し、外部からの土砂の持ち込みを防ぐことがポイントです。



ノンワックスシートのメンテナンス

ノンワックスシートは汚れが付きにくく、付着しても一般ビニルシートと比較して汚れが取れやすい床材です。ワックスメンテナンスが不要な床材で、日常メンテナンスを適切に行うことで、シート的美観を保ちます。汚れが付きにくいコーティングを施しておりますが、汚れは時間と共に落としにくくなりますので、日常メンテナンス(清掃)により早いうちに除去してください。

【メンテナンスサイクル例】



■ 施工時のメンテナンス

初期メンテナンスとしては基本的な清掃を行ってください。
工事完了後のワックス掛けは不要ですが、引き渡し前は現場の状況に応じて土砂や泥でコーティング層に傷が付かない様に、養生などの対策を講じてください。

■ 日常のメンテナンス

日常の清掃は毎日必ず実施してください。

ゴミ、砂等はほうき、化学雑巾、掃除機等で取り除いてください。埃、ちり等は固く絞ったモップや雑巾で水拭きするか、化学雑巾で取り除きます。ヒールマーク等の汚れで落ちにくい場合は、中性洗剤を使用してハンドパッドでこすり取り、仕上げに水拭きを行ってください。自動洗浄機を使用する場合は、柔らかいパッド(白～赤)を使用してください(目の粗いパッドを使用すると表面の特殊コーティング層が摩耗する可能性があります)。中性洗剤で除去できない汚れはアルコールを含ませたウエスで汚れをこすり取ってください。汚れ落としにはシンナーは使用しないでください。

<注意>

ノンワックスで長期間ご使用後、歩行頻度や使用状況により表面の特殊コーティング層が摩耗消失した場合、日常清掃で汚れが取りにくく目立つ場合は、ワックスメンテナンスへの移行が必要となります。

※ノンワックスシートは最初からワックスメンテナンスを行うことも可能です、その場合はP.51記載の推奨メンテナンス材を使用してください。

※ワックスメンテナンスを行う場合は、一般ビニルシートのメンテナンス方法に従ってワックスを塗布してください。荒目のパッドを使用すると特殊コーティング層が摩耗する可能性がありますので、ワックス剥離の際はパッドは赤～青を使用してください。

■ 目地溶接部のメンテナンスについて

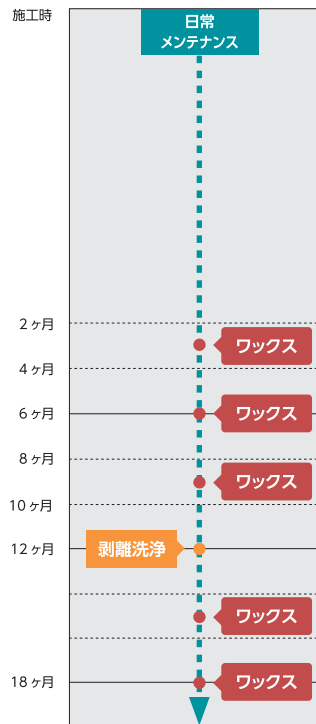
シートの継ぎ目に使用する溶接棒は、従来一般ビニルシート向け(非ノンワックス品)に比べて汚れにくい配合にしております。しかし、溶接棒はノンワックスシートの特殊コーティングとは異なる材質であるため、シート面に比べると汚れが付着しやすく目立つ場合があります。

そのため目地溶接部につきましては、ノンワックスシートのメンテナンスに準じて実施いただき、汚れがひどい箇所は部分的により入念なメンテナンスを実施してください。

汚れが取れにくく、残ってしまう場合は、アルカリ洗浄剤(ワイプノン)を使用して汚れを除去してください。仕上げに水拭きを行ってください。

一般ビニルシートのメンテナンス

【メンテナンスサイクル例】



■ 施工時のメンテナンス

初期メンテナンスはシート表面を洗浄後、推奨ワックスを2～3回塗布してください。適切なメンテナンスを行えばほとんどの汚れは日常メンテナンスで除去することができます。

■ 日常のメンテナンス【毎日】

日常の清掃は毎日必ず実施してください。

ゴミ、砂等はほうき、化学雑巾、掃除機等で取り除いてください。埃、ちり等は固く絞ったモップや雑巾で水拭きするか、化学雑巾で取り除いてください。汚れがひどい箇所は中性洗剤で洗浄後、水拭きし乾燥させます。

■ 表面洗浄・ワックス塗布【3ヶ月に1回程度】

日常の清掃でもシート表面に汚れが目立ちはじめたら表面洗浄を実施してください。汚れの程度に応じて中性洗剤、もしくはアルカリ洗浄剤(ワイブノン)にて洗浄を行ってください。スポンジ、ブラシ、ポリッシャー等を用い、床に傷が生じないように注意しながら洗浄します。床材表面の汚水を速やかに回収し、乾く前にきれいなモップで十分に水拭きして汚水を完全に拭取り、乾燥させます。部分的にワックスが摩耗している場合には、ワックスを塗布します。

■ 剥離洗浄・ワックス塗布【1年に1回程度】

汚れがワックス内部に入り込んだり、被膜が黄変・劣化したときにはワックスの剥離洗浄を実施します。ワックス剥離剤(ハクリスターPRO10)を用いてワックス被膜を完全に除去してください。ポリッシャーを使用する際は、シート表面に深い傷をつけてしまう恐れがありますのでパッドの選定にご注意ください。ワックスを剥離した廃液を除去し、剥離液が残らぬようにきれいに洗浄し、乾燥させます。その後ワックスを複数回塗布してワックス被膜を形成させます。

<注意>

※メンテナンスの頻度は目安です、実際にはご使用状況(使用部位、歩行人数など)により変動します。

※ワックスとシートの密着性は、事前の洗浄状態の影響をうけるので、ワックス塗布前にはアルカリ洗浄剤とポリッシャーによる洗浄を必ず行ってください。

※ワックスや洗浄剤、剥離剤は必ず推奨品をお使いください。

推奨品以外のメンテナンス材をご使用の際は、組合せや塗布条件により密着不良となる可能性がありますので、使用前に目立たない所で試してからご使用ください。

※メンテナンス実施の際は、容器に記載されている注意事項等をよく読んでからご使用ください。

耐薬品床材のメンテナンス

薬品によりワックスが変色、変質する場合がありますので、ワックスをかけずにお使いください。付着した汚れは中性洗剤やアルカリ洗浄剤(ワイブノン)で取り除いてください。

帯電防止床材・導電床材のメンテナンス

帯電防止樹脂ワックス(ピオスタック)を使用してください。一般樹脂ワックス(ピオリウム)は帯電防止性能を阻害しますので使用しないでください。

防滑床材のメンテナンス

防滑性能が低下する原因となりますので、ワックスをかけずにお使いください。付着した汚れは中性洗剤やアルカリ洗浄剤(ワイブノン)で取り除いてください。

推奨メンテナンス材一覧

コニシ(株)製

種類	ワックス		洗浄剤	ワックス剥離剤
	樹脂ワックス	帯電防止樹脂ワックス		
品名	ピオリウム®	ピオスタック®	ワイブノン®	ハクリスター PRO 10®
荷姿				
価格(税別)	オープン価格 (18kg : 2kgエコパック×9袋)	オープン価格 (18kg : 2kgエコパック×9袋)	オープン価格 (18ℓ/缶)	オープン価格 (18ℓ/缶)

注 意 事 項

使用上の注意点

- ◎ゴムタイヤや家具の脚ゴム、ゴムマットなど、一部のゴム製品によっては床面が褐色に変色する(ゴム汚染)場合があります。これはゴムに含まれる成分によって生じるものです。
非汚染タイプのゴムに変更するか、床シートが直接触れないように保護板を使用してください。
- ◎家具などに使用されている塗料や防蟻剤、防腐剤により汚染することがありますのでご注意ください。
- ◎粘着テープを貼る場合は、アクリル系粘着剤のテープを使用してください。ゴム系粘着剤のテープを用いると、ゴム汚染と同様の汚染が生じることがあります。
- ◎重量物や車輪の無理な移動はしないでください。床シートの表面を傷つけたり膨れを発生させる危険性があります。強くこすったり、引きずったりしないようにご注意ください。
- ◎施工直後の床材は素材特有の臭いがありますので、換気を心がけてください。

施工上の注意点

- ◎梱包に記載されている品名・品番・ロット・数量を確認のうえ、施工を開始してください。
- ◎ノンワックスシート、タフ耐動荷重シート、タフ耐動帯電シート等は巻きぐせが強いので、施工前にロールを広げて十分に仮敷き養生を行ってください。
- ◎下地は湿気が無く強度があることが必要です。下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では施工を避けてください。
また、床の仕上がりは下地の状態が決まるため、凹凸、不陸、隙間は補修し、ゴミや塗料などの汚れは完全に除去してください。
- ◎下地に含まれる水分の判断基準としては、高周波容量式水分計「HI-520」「HI-520-2」に備えられているD.MODE(ダイレクトモード)の読み値を用いたグレード区分が施工方法の目安とされています。

グレード	D.MODE (読み値)	下地水分指標	施工方法目安
I	440 未満	8%以下	一般工法
II a	440 以上 620 未満	8 ~ 10%	耐水工法推奨
II b	620 以上	10%以上	施工不可

<測定方法>
 選択ダイヤル：「D.MODE」
 厚さ補正ダイヤル：「40」
 温度補正ダイヤル：「AUTO」

- ◎施工の際は、製品の指定接着剤を使用し、専用のクシ目ゴテで均一に塗布してください。一回の塗布面積は、貼付け可能時間以内にシートが貼り終える面積としてください。
- ◎接着剤の缶に表示されているオープンタイム、貼付け可能時間を参考にして床材を貼付けしてください。
オープンタイムや貼付け可能時間は、接着剤の塗布量・下地(吸湿性)・温度・湿度・通風量など実際の施工環境により異なりますので、塗布した接着剤の乾燥状態を実際に確認しながら床材を貼り合わせてください。オープンタイムの取り方が短すぎると膨れの原因となり、長すぎると十分な接着強度が得られません(オーバータイム)。
- ◎施工後はローラーで十分に圧着してください。圧着不足は接着不良につながり、床材の反り、剥がれ、突き上げなどを生じさせます。
- ◎接着剤が十分に硬化するまでは、水洗い、急激な温度変化、什器や重量物の移動は避けてください。剥がれ、膨れなどを発生させる可能性があります。

接着剤一覧

施工区分	一般工法			耐水工法				耐動荷重・ 導電シート
	品名	SG-20	SG-2200	ロンセメントエコ	EPシングルウレタン	EPシングルウレタン 2000	SG-1000	
主成分	合成ゴム ラテックス系	アクリル樹脂 エマルジョン系	アクリル樹脂 エマルジョン系	ウレタン樹脂 溶剤系	ウレタン樹脂 溶剤系	ウレタン樹脂 溶剤系	エポキシ樹脂系 二液型	ウレタン樹脂 溶剤系
商品姿								
ホルムアルデヒド区分	JIS F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆
容量・規格	18kg プラ容器 3kg ポリ容器	18kg プラ容器	18kg プラ容器	16kg 缶	15kg 缶	16kg 缶 5kg缶	18kg セット	18kg 缶 9kg 缶
標準使用量	60㎡/18kg	60㎡/18kg	60㎡/18kg	50㎡/16kg	45㎡/15kg	50㎡/16kg	45㎡/18kg	55㎡/18kg
プレーン/マーブル(ノンワックス)	○	○	○	○	○	○	○	—
タフベシックプラス タフウッドライト	○	○	○	○	○	○	○	—
タフクリアー・タフレイドプラス	○	○	○	○	○	○	○	—
タフレスト	×	×	×	○	○	○	○	—
タフフォーム	×	○	○	○	○	○	○	—
タフ下地シート	×	×	×	○	○	○	○	—
タフラット(ソフト)	○	○	○	○	○	○	○	—
防滑シート	○	○	○	○	○	○	○	—
NPプール(遮熱/一般)	×	×	×	○	○	○	○	—
タフステップ・けこみシート	×	×	×	○	○	○	○	—
帯電防止・耐薬シート	×	×	×	○	○	○	○	—
耐動荷重・耐動帯電 導電シート	×	×	×	×	×	×	×	○

※タフステップは段鼻部に専用接着剤を併用します